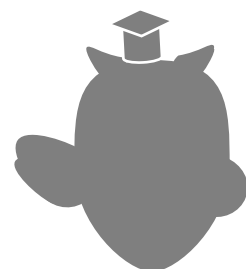
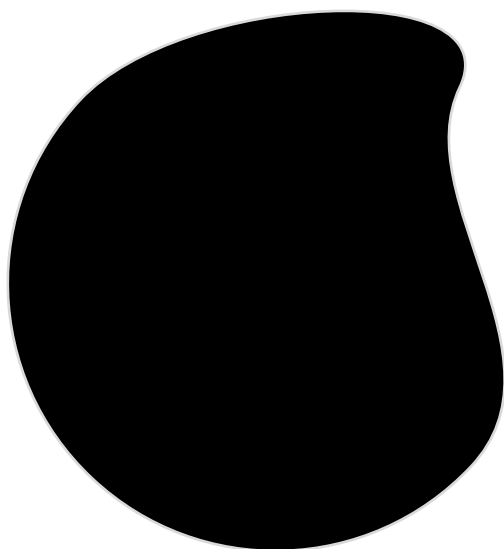


履修登録の流れと

各科目の紹介

ラバス

SYLLABUS



未来の自分を作ってみよう

これから皆さんは、本校のたくさんの科目を選択して時間割を作成します。そして、選んだ科目を学校に届け出ることを「履修登録」と言います。このシラバスには、科目の情報と時間割を作成する手順、その際の決まりごとが書かれています。これらの情報を活用して、自分自身の時間割を作っていきます。

(1) 卒業に向けて履修登録・科目選択をしましょう

入学した皆さん全員が必ず目指すのが卒業です。履修登録をすることは卒業を目指すこと、卒業を目指すことは履修登録をすることです。そして、卒業するためには必履修科目を含めた最低限の単位修得が必要になります。これらの最低限のルールをクリアすることが最初に行うことです。その上で、一人一人の未来設計に沿って科目を選択していきます。

(2) 将来に向けて科目選択をしましょう

ホランド理論に基づいて自分の興味関心に合った科目を学習することで興味関心を深め、得意技を作ることができます。例えばCタイプ（事務タイプ）の人は情報や商業の科目を選択することで高校や大学を卒業した後の起業や就職につながるでしょう。映像技術を身に付けていれば何とかフリーランスでやっていけるかもしれないし、会計処理ができれば必ず仕事はあります。他にも、ものづくり、医療、芸術、語学など将来役立ちそうな技術や知識はたくさんあります。

(3) 課題研究に向けて科目選択をしましょう

2年次の後半からスタートする課題研究では、一人一人がテーマを決め、自ら調べ、自ら考え、自ら発表していきます。その基礎になる知識や技能など、はそれぞれが所属したゼミに関わる柱の科目を中心に身に付けていきます。また、隣接の科目でやっておいたほうが良い学習もあります。自分の未来設計に照らし合わせた時どのような科目を選択すると良いか、ゼミの先生のアドバイスを受けながら考えていきましょう。

(4) 受験に向けて科目選択をしましょう

上級学校に進学するときは、課題研究を活かして総合選抜や推薦選抜に臨むのが総合学科の生徒にとっては効果的です。しかし、一般受験や大学入学後の学習のことを考えるとこれは選択しておきたいという科目があります。トレーニングや積み重ねが必要で科目の履修順序を押さえなければならぬ科目、多くの大学の入試で課される科目と一部の大学の入試で課される科目などがありますので、よく調査しておきましょう。

<①シラバスを読む上での前提知識>

①履修…授業への出欠席に関する決まりごと

履修とは、規定に従って登録した科目の授業を受け、出席が基準を満たすことをいいます。各科目の年間法定時数の3分の2以上の出席をもって履修を認めています。したがって、各科目の欠課時数が3分の1を超えると、その科目の履修が認められません。

②修得…授業へ参加し、かつ学習の成果を修めること

修得とは、学習の成果により単位が認定されることをいいます。学校内では「単位をとる」と表現されることが多いです。卒業するためには74単位以上の修得が必要となります。

③評定

評定とは、年度末の通知表に記載される学習の成果を表す数字のことをいいます。「1～5」の5段階で表されます。

- ・評定「5」～「2」の場合…………… 履修○ 修得○
- ・評定「1」の場合…………… 履修○ 修得×
- ・各科目の欠課時数が法定時数の3分の1を超えた場合… 履修× 修得×



必履修	科目	履修をしないと卒業できない科目
選択必履修	科目	必履修科目のうち、学べる科目が選べるもの
学校必選択	科目	該当年次に必ず選択する科目
再履修	科目	年次指定の必履修科目が未履修となった場合のための科目
自由選択	科目	自身の希望に合わせて学べる科目

※科目によっては「履修条件」が存在するものもあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができません。

<例>

- ・「歴史総合」を履修済みでないと、「日本史探究」を履修することができない。
- ⇒例えば2年次に「日本史探究」を選択したい場合は、1年次に「歴史総合」を選択し、履修しておく必要があります。このようなことも考慮して、1年次にどの科目を選択するかを検討する必要があります。

<② 1年次の時間割を作成する手順（履修登録の流れ）>

高校1年次の
時間割を考えてみましょう！

<ステップ①>

1年次指定科目（1年次に必ず履修しなければならない科目）を確認する。理科と芸術は科目選択できることがわかりますね！なお、以下の科目の履修登録で所属部での1日4時間×5日間の時間割は完結します。

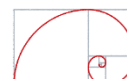
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
国語	現代の国語	2	芸術 いずれか 1科目	音楽 I	2
公民	公共	2		美術 I	2
数学	数学 I	2		工芸 I	2
理科 いずれか1科目	科学と人間生活	2	外国語	英語コミュニケーション I	2
	化学基礎	2	情報	情報 I	2
保健体育	体育 A	2	総合	産業社会と人間	2
	保健 A	1			

<ステップ②>

理科と芸術の選択科目を選ぶ。

<input checked="" type="checkbox"/>	内容	登録科目名
<input type="checkbox"/>	1年次指定理科の選択科目を選ぶ	「科学と人間生活」「化学基礎」
<p>◆「科学と人間生活」を1年次に履修した場合は、 「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1つを2年次以降に履修する。 ・「科学と人間生活」と「他の理科科目」を同一年度に履修することはできない。 ・「他の理科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。</p> <p>◆「化学基礎」を1年次に履修した場合は、 「物理基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から2つを卒業までに履修する。</p>		

<input checked="" type="checkbox"/>	内容	登録科目名
<input type="checkbox"/>	芸術選択科目を選ぶ	「音楽 I」「美術 I」「工芸 I」
<p>◆音楽系の内容を希望する人は「音楽 I」、絵画や彫刻などの美しさを表現する作品づくりを希望する人は「美術 I」、工芸作品（暮らしの中の道具など）を作ることを希望する人は「工芸 I」を履修登録する。</p> <p>◆保育系を希望する人は「音楽 I」の履修登録をお薦めする。</p>		



<ステップ③>

3年間での卒業か、4年間での卒業かを定める。※卒業までには74単位以上の修得が必要となります。

- ◆ 3年間での卒業を希望する場合
他部履修にて「3科目（6単位）以上」は履修登録してください。
- ◆ 4年間での卒業を希望する場合
他部履修での登録は必ずしも必要ありませんが、2年次以降の余裕を持った履修計画のためにも、他部において「1科目（2単位）」程度は履修登録しておくことをお勧めします。

<ステップ④>

ステップ③を踏まえて、他部履修で登録する科目を選ぶ。他部履修は最多で「5科目（10単位）」まで登録が可能です。

※（★）の科目は必履修科目であり、卒業までに必ず履修しなければなりません。

☑	内 容	登 録 科 目 名
	義務教育課程の国語を復習したい。 大学進学に向けた対策をしたい。	国語プラス
	社会（地理・歴史）をたくさん学びたい。	地理総合（★） 歴史総合（★）
	数学をたくさん学びたい。 理系大学へ進学したい。	数学A
	義務教育課程の算数・数学を復習したい。 大学進学に向けた対策をしたい。	数学プラス
	理科（物理・生物）をたくさん学びたい。	物理基礎 生物基礎 ※科学と人間生活を選択した人は、1年次にこれらの科目を履修登録することはできません。
	身体を動かしたい、ダンスを学びたい。	ダンス入門
	美術Ⅰと工芸Ⅰを両方学びたい。	必履修登録において、 美術Ⅰを選択した人は工芸Ⅰ 工芸Ⅰを選択した人は美術Ⅰ
	英語をたくさん学びたい。 大学へ進学したい。	論理・表現Ⅰ
	義務教育課程の英語を復習したい。 大学進学に向けた対策をしたい。	英語プラス
	家庭科（保育・福祉・調理）などを学びたい。	家庭基礎（★）
	ビジネス（商業）を学びたい。	ビジネスベーシック
	日本の伝統文化（茶道・華道・落語など）を学びたい。	日本の伝統文化
	ドローンの仕組みや操作方法、映像配信の手法を学びたい。	ドローン入門 映像配信入門
	SDGsを学びたい。	SDGs入門

以上で時間割の作成は終了です。

<③2年次以降の時間割を作成する手順（履修登録の流れ）>

<ステップ①>

必履修科目（卒業までに必ず履修しなければならない科目、下記の科目が未履修だと卒業できません。）のうち、すでに履修済み（あるいは履修できる予定）のものにチェックをしてみましょう。

教科	科目	単位数	☑	教科	科目	単位数	☑
国語	現代の国語	2		保健体育	詳細は下記参照		
	言語文化	2					
地理歴史	地理総合	2					
	歴史総合	2		美術 I	2		
公民	公共	2		工芸 I	2		
数学	数学 I	2		外国語	英語コミュニケーション I	2	
理科※ 2科目 または 3科目	科学と人間生活	2		家庭	家庭基礎	2	
	物理基礎	2		情報	情報 I	2	
	化学基礎	2		総合的な探究の時間 (フューチャーデザインング2)		1	
	生物基礎	2		総合的な探究の時間 (フューチャーデザインング3)		1	
地学基礎	2						

※<理科の卒業要件>

①「科学と人間生活」を履修した場合

「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のいずれか1科目を次年度以降に履修する。

②「科学と人間生活」を履修しなかった場合

「化学基礎」「物理基礎」「生物基礎」「地学基礎」の中から3科目を履修する。

・「科学と人間生活」と「他の理科科目」を同一年度に履修することはできない。

・「他の理科科目」履修後に「科学と人間生活」を履修することはできない。

教科	科目	単位数	☑	教科	科目	単位数	☑
保健体育※	体育 A	2		保健体育	保健 A	1	
	体育 B	1			保健 B	1	
	体育 C	2		※「体育」は卒業までに7単位以上を履修する。 「体育A」～「体育E」の組み合わせ方は自由。			
	体育 D	2					
	体育 E	2					

<ステップ②>

現在自分が受講している科目のうち、履修／修得できそうな科目を確認する。「学校外での学修による単位認定」も含めて、修得単位数の見込みを立てること。3年間での卒業か、4年間での卒業かを改めて検討する。

<ステップ③>

翌年次における年次指定科目を確認する。

◆ 2年次必選択科目（2年次に必ず選択しなければならない科目）は次表の通り。1年次のとくと比べて年次指定科目が少なくなる分、自由に選べる科目の幅が広がりますね！

教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
保健体育	体育 B	1	総合	ゼミナール 2	1
	保健 B	1	総合的な探究の時間 (フューチャーデザインング 2)		1
家庭*	家庭基礎	2	人間と社会		1

※ 1年次に「家庭基礎」を履修済み（履修できる予定も含む）の生徒は、2年次に「家庭基礎」を履修登録する必要はない。

◆ 3年次必選択科目（3年次に必ず選択しなければならない科目）は次表の通り。年次指定科目が大幅に減る分、自由に選べる科目の幅がさらに広がりますね！

教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
総合的な探究の時間 (フューチャーデザインング 3)		1	総合	ゼミナール 3	2

<本校の卒業要件>

- ①修得単位数が74単位以上であること。
 - ②高等学校での修業が通算3年以上であること。
 - ③定められた必履修科目（<ステップ1>参照）を規定に従って、すべて履修していること。
 - ④特別活動を履修*し、その目標からみて成果が満足できると認められること。
- ※ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事に参加すること。
- ⑤本校に1年以上在籍し、10単位以上履修していること*。
- ※本校における学びの中心は「ゼミナールに参加し、課題研究を行う」ことです。
したがって、課題研究に伴う「課題の設定・調査・分析・発表」といった1年間に渡る活動を経験することが、本校の卒業要件の1つに定められています。
- ⑥卒業までに必要な授業料や諸費用を定められた期日までに全て納入していること。
- ⇒3年次での卒業を考えている生徒は、上記の卒業要件（特に①③）を満たすように履修登録をしてください。

◆ 4年次必選択科目（3年次に必ず選択しなければならない科目）は次表の通り。

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
総合的な探究の時間 (フューチャーデザイン4)		1	総合	ゼミナール4	2
卒業要件については、3年次指定科目の欄を参照してください。					

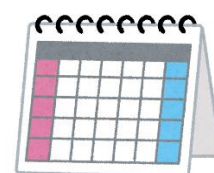
<ステップ④>

再履修科目（年次指定の必履修科目が未履修となった場合のための科目）の履修登録について考える。
 [2年次に再履修科目を登録するのか、3年次に持ち越すのか等] 卒業要件に関わることなので、担任の先生と十分に相談をしてください。

<ステップ⑤>

ステップ①～④を踏まえて選択科目を選ぶ。他部履修は最多で「5科目（10単位）」まで登録が可能です。

- ・各科目の内容やその詳細はシラバスを参考にしてください。
- ・「必履修科目／選択必履修科目」の登録を優先することをお勧めしますが、そればかりだと、自身の興味関心や進路活動に必要な科目の登録ができなくなる可能性があります。翌年次・翌々年次までの履修登録を見据えた科目選択を行いましょう。
- ・科目によっては「履修条件」が存在するものもあります。条件に達していない場合は、履修登録をすることができませんので注意をしてください。



<④その他>

1. 履修登録に関するスケジュール（予定）

（1）在校生

①履修登録説明会	1 1月中旬
②ゼミ別履修登録相談会	1 1月下旬
③仮の時間割表の作成	1 2月上旬
④担任との面談	1 2月中旬
⑤履修登録	1 月上旬
⑥講座調整	1 月中旬
⑦講座決定	1 月下旬
⑧履修再登録	1 月下旬

※履修登録に関するルールや流れの説明は「産業社会と人間」及び「LHR」の時間に行います。

（2）新入生（2年次相当生を含む）

①履修登録説明会	3 月中旬
②履修登録	3 月中旬
③講座調整	3 月下旬
④講座決定	3 月下旬

（3）転入学生

入学前に履修登録をしてもらいます。

2. 講座調整について

- ・1つの科目に希望が集中した講座については、受講者の調整を行うことがあります。
- ・希望者が著しく少なかった講座については、その講座が募集停止となり、閉講となることがあります。

3. 履修登録の確定

- ・履修登録の確定については「個人別時間割」の配付によりお知らせします。
- ・履修登録が年度末までに行われない場合、新年度の4月以降に在籍することは認められません。
- ・年度末までに授業料が納入されていない場合は、新年度の履修登録及び在籍は認められません。

メモ欄